

土木構造物の維持管理技術研修会

「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2023」

－ 第24回技術研修会 発表技術の募集案内 －

主催：一般社団法人 日本構造物診断技術協会
構造物診断士会

一般社団法人日本構造物診断技術協会 構造物診断士会では、「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2023」と題する技術研修会を開催いたします。

つきましては、研修会において皆様方が保有される鋼構造物あるいはコンクリート構造物の維持管理に関する技術を紹介・発表していただきたく募集しますので、奮ってご応募いただきますようご案内申し上げます。

当会では、技術力向上の一助と実務者相互の情報交換のために、コンパクトな技術交流の場を提供することを目的として、2011年1月に第1回目の技術研修会を開催いたしましたところ、多数の方々にご参加いただき、大変なご好評を得ることが出来ましたので、この行事を“ニューテクの今”と題するシリーズとして2022年の研修会を含めて23回開催してまいりました。

皆様が保有される貴重な技術を紹介して、販売および普及の場としてご活用していただければ幸いです。なお、この研修会は土木学会の継続教育制度(CPDプログラム(建設系CPD協議会に認定))の認定を申請いたします。また、発表された技術の紹介資料を協会「構造物診断士会」のホームページに掲載いたします。発表会場では新型コロナウイルス感染を防止する対策を講じ、安心して発表していただけるように配慮いたします。

記

研修会開催日時：2023年5月18日(木) (詳細は別途案内)

研修会開催場所：埼玉県 川口駅前市民ホール フレンジア (JR 川口駅に隣接)

発表技術内容：鋼構造物およびコンクリート構造物を対象とした

- ① 調査・点検技術分野 ② 診断技術分野 ③ 補修技術分野
- ④ 補強技術分野 ⑤ 保守技術分野

発表技術の選考：発表技術の応募件数が多い場合には、所定数を構造物診断士会にて選考いたしますことを、あらかじめご了承ください。

なお、本研修会は今後も継続的に実施いたしますので今回の選考にもれた応募技術は、次回以降の優先候補とさせていただきます。

発表の形態：① 1件当りの発表時間は、20分程度を予定しています。

② 発表では紹介技術に関する資料の配布や模型・実物による実演を実施していただいても結構です。

③ 聴講者数は120名程度を予定しています。

④ 研修会では保全に関する著名な方による「特別講演」も実施します。

発表の応募締切：① 発表技術の応募申込締切日は2023年1月末です。

② 発表要領は、採用された方に改めてご連絡します。

申込方法：添付の発表申込書に必要事項を記入してメールにてお申し込みください。

※ 発表していただきます技術1件につき展示協力費として1万円(ご発表者1名分の聴講参加費を含む)のご協力をお願いいたしますので、あらかじめご了承ください。

※ 過去2回分の発表状況を添付します。

＜“ニューテクの今”過去2回分の発表技術＞

① 第22回 “ニューテクの今” 2021

2021年6月18日開催			
紹介技術	①	磁気ストリーム法による橋梁のPC鋼材破断検査法(SenrigaN)	コニカミノルタ株式会社
	②	遮蔽型マクロセル腐食対策技術	遮蔽型マクロセル対策工研究会
	③	電源不要で変位・応力・荷重等のデータをスマホで確認可能な技術	CACH 株式会社
	④	支承部品の落下防止対策用ネット及び組紐	前田工織株式会社
講演	特別講演 「維持管理に関する調査研究を振り返って」	前 土木研究所 理事 先端材料資源 研究センター センター長 渡辺 博志	

② 第23回 “ニューテクの今” 2022

2022年5月18日開催			
紹介技術	①	球状黒鉛鋳鉄の大気腐食特性及び土木構造物への適用	日之出水道機器株式会社
	②	OSMOS モニタリングシステム	日揮株式会社
	③	インフラ維持管理における AI と画像処理技術の今後の活用～コンクリート構造物点検支援アプリ「SwallowAI」～	株式会社ニコンシステム
	④	プレキャストボックスカルバートによる橋梁リニューアル工法	昭和コンクリート工業株式会社
	⑤	橋梁下部工モニタリング技術	長野計器株式会社
	⑥	Dr. Bridge (AI を活用した橋梁劣化・健全度判定支援システム)	株式会社 日本海コンサルタント
	⑦	エコクリーンハイブリッド工法	ヤマダイインフラテクノス株式会社
講演	特別講演 維持管理からイジカンリへ ～これからのインフラの守り方～	日経 BP 日経クロステック編集部 日経コンストラクション編集長 眞鍋 政彦	